

5万分の1地質図幅の新刊

蓼科山

TATESHINAYAMA

5万分の1地質図幅
地域地質研究報告

著者 河内 晋平 (北海道大学)

発行 工業技術院地質調査所

取扱先 東京地学協会 (03) 261-0809

- 地理上・地質構造上ちょうど日本列島のド真中にある八ガ岳火山の噴出物分布範囲は 5万分の1地形図で4.5枚分ある。「蓼科山」はこの北半分の主稜を連ねた地域にあたり 著者の18年にわたる研究成果がもり込まれている。
- 克明なルートマップの作成と空中写真の観察から 溶岩流の表面構造 連続した1枚の溶岩流の作る崖など

について 顕著なものほれなく表現され 99におよぶ凡例とともに今後の各種資料収集者にとっても手助けになるにちがいない。

- 八ガ岳の地質記載に入る前に 約2,000コのゼノリスについての肉眼鑑定結果を示し 地表の基盤岩の大構造とあわせて 将来の大きなテーマがあることを記している。
- 「火山発達史の概要と火山の配列」の項では 八ガ岳全体の発達史を述べ つづいて公表予定の「八ガ岳」図幅との関連がわかるような位置づけがなされている。また特に八ガ岳の北西部につながる鮮新世の霧ヶ峰地区との火山および火山岩の配列の特徴について記している。
- 八ガ岳火山を古八ガ岳(凡例数22) 新八ガ岳(凡例数71)に分けて記載し 化学成分は既発表6コ 今回八表が11コ表示され 巻末には合計97本の柱状図が付されて 重厚な火山地質の報告書となっている。
- この上は南の「八ガ岳」図幅の刊行がまたれるが その際には八ガ岳火山列全体の地質図を何らかの形で付してほしいものである。

